

安全データシート

作成日 2011年4月8日

改訂日 2024年4月1日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称

ゴムエースP 硬化剤

会社名	アサヒボンド工業株式会社
住所	東京都板橋区大谷口北町3-7
担当部門	営業部
電話番号	03-3972-4929
FAX番号	03-3972-4583
緊急連絡電話番号	03-3972-4929
推奨用途及び使用上の制限:	ゴムシート用ウレタン系防水材料加工のプライマー用途に限る。
整理番号	10012

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分4
	急性毒性(吸入:蒸気、ミスト)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

(H226) 引火性液体及び蒸気
(H302) 飲込むと有害
(H312) 皮膚に接触すると有害
(H332) 吸入すると有害
(H314) 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
(H318) 重篤な目の損傷
(H317) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
(H361) 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
(H371) 臓器の障害のおそれ
(H373) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
(H402) 水生生物に有害
(H412) 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

(P210) 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
(P233) 容器を密閉しておくこと。
(P240) 容器を接地しアースをとること。
(P241) 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
(P242) 火花を発生させない工具を使用すること。
(P242) 静電気放電に対する措置を講ずること。
(P280) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
(P264) 取り扱い後は手をよく洗うこと。
(P270) この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
(P261) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

- (P271) 屋外又は換気のよい場所でだけ使用すること。
 (P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 (P201) 使用前に取扱説明書を入手すること。
 (P202) すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 (P261) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 (P273) 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- (P303+P361+P353) 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 (P370+P378) 火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。
 (P301+P312) 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
 (P330) 口をすすぐこと。
 (P302+P352) 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。
 (P312) 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 (P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用をする場合には洗濯をすること。
 (P304+P340) 吸入した場合:空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 (P301+P330+P331) 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 (P363) 汚染された衣類を再使用をする場合には洗濯をすること。
 (P310) 直ちに医師に連絡すること。
 (P305+P351+P338) 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用
 して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 (P333+P313) 皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診察/手当を受けること。
 (P308+P313) ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当を受けること。
 (P308+P311) ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

【保管】

- (P403+P235) 換気のよい場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 (P405) 施錠して保管すること。

【廃棄】

- (P501) 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託
 すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 化学品又は一般名 危険有害成分	混合物		
化学名又は一般名	濃度範囲	CAS番号	官報公示整理番号
ポリメルカプタン系化合物	65～75%	非開示	非開示
変性脂肪族ポリアミン	10～15%	非開示	非開示
1-メキシ-2-プロパノール	10～15%	107-98-2	(2)-404(化審法・安衛法)
メタキシレンジアミン	0.5～1.0%	1477-55-0	(3)-308(化審法・安衛法)
アミン系フェノール化合物	1.0～2.0%	90-72-2,71074-89-0	(3)-776,(3)-2868(化審法・安衛法)
ベンジルアルコール	1.0%以下	100-51-6	(3)-1011

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗う こと。汚染された衣類を再使用するには洗濯をすること。多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外 すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手につかないように注 意を払うこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	小火災:粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水 大火災:水噴霧、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状水
火災時の特定の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱すると容器が爆発するおそれがある。 消火水が汚染を引き起こすおそれがある。 蒸気が発火源まで達し、フラッシュバックするおそれがある。
特有の消火方法	可能な限り遠くから無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 大火災の場合には無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 これが不可能な場合にはその場から退避し、燃焼させておく。

消火を行う者の保護と予防措置 消火の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 適切な保護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。低地から離れる。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境中へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
技術的対策	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
安全取扱い注意事項	容器を接地すること/アースをとること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。 取扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
接触回避 衛生対策	「10. 安定性及び反応性」を参照。 取扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
保管	保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 保管場所の床は、床面に水が侵入し、又は浸透しない構造とすること。 貯蔵倉庫には、危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。 酸化剤、酸から離して保管する。 容器を密閉して涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
安全な容器包装材料	施錠して保管すること。 表面処理された鋼板、あるいは、ステンレス容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	ベンジルアルコール 25mg/m ³ (Ceiling limit Provisional)
日本産衛学会(2007年版)	メタ-キシレンジアミン TLV-STEL 0.018mg/m ³ 皮膚吸収性有り
ACGIH(2009年版)	1-メキシ-2-プロパノール TWA 50ppm STL;100ppm(眼および上気道刺激)
設備対策	気中濃度を推奨された管理濃度・許容濃度以下に保つために、局所排気装置を設置すること。 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	防毒マスク(有機ガス用)
手の保護具	耐油性(不浸透性)の手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡または安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長靴、前掛け、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	淡黄褐～淡赤褐色液体
臭い	メルカプタン臭
pH	データなし(非水系である)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	可燃性である。
爆発下限及び爆発上限範囲/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし

動粘性率	データなし、参考まで粘度規格; 1000~3000mPa・s(23°C)
溶解度	芳香族炭化水素系溶剤、アルコール系溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.10~1.20 (23/23°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
臭いの閾値	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体・ガス)	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物、イソシアネート化合物等と反応する。
化学的安定性	通常の取扱い条件で安定であるが、長時間の空気との接触では変質する。
避けるべき条件	過度の加熱。空気及び水との接触。過酸化物質との接触。
混触危険物質	酸性物質、酸化性物質、エポキシ化合物、イソシアネート化合物、過酸化物質。
危険有害な分解生成物	アミン類、アンモニア、燃焼等による一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	経口	以下の急性毒性(経口)の物質を含む。 ポリメルカプタン ラット LD50 3000mg/kg メタ-キシリレンジアミン ラット LD50 660-1180mg/kg 1-メキシ 2-プロパノール ラット LD50 6600mg/kg ベンジルアルコール ラット LD50 1230mg/kg
	経皮	他の成分は有用なデータなし。 以下の急性毒性(経皮)の物質を含む。 ポリメルカプタン ウサギ LD50 5000mg/kg 以下(推定値) メタ-キシリレンジアミン ウサギ LD50 2000mg/kg 1-メキシ 2-プロパノール ウサギ LD50 13kg/kg ベンジルアルコール ウサギ LD50 2000mg/kg 他の成分は有用なデータなし。
	吸入(蒸気)	以下の区分の急性毒性(蒸気)の物質を含む。 ポリメルカプタン ラット LC50 10mg/L 以下(推定値) メタ-キシリレンジアミン ラット LC50 0.8mg/L 1-メキシ 2-プロパノールラット LC50 0.8mg/L ベンジルアルコール 区分に該当しない 他の成分は有用なデータなし。
皮膚腐食性/刺激性		重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1) 以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む。 区分1 メタ-キシリレンジアミン 区分に該当しない ポリメルカプタン; PII= 0.2 区分に該当しない ベンジルアルコール 他の成分は有用なデータなし。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		重篤な眼の損傷(区分1) 以下の区分の眼に対する重篤な損傷/刺激性の物質を含む。 区分1 メタ-キシリレンジアミン 区分2 1-メキシ-2-プロパノール; ラビット 軽度の刺激性(SIDS,2003) 区分2 ベンジルアルコール 他の成分は有用なデータなし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		呼吸器感作性; 分類できない 皮膚感作性; アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1) 以下の区分の皮膚感作性の物質を含む。 区分1 メタ-キシリレンジアミン 分類できない ポリメルカプタン 分類できない ベンジルアルコール 他の成分は有用なデータなし。
生殖細胞変異原性		分類できない 区分に該当しない メタ-キシリレンジアミン 区分に該当しない ポリメルカプタン; Ames 陰性 分類できない ベンジルアルコール 他の成分は有用なデータなし。
発がん性 生殖毒性		分類できない 生殖能または胎児への悪影響のおそれ(区分2) 区分2 原料メーカー報告による変性脂肪族ポリアミン由来による。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		以下の区分の物質を含む。

	メタ-キシリレンジアミン:ラットを用いた吸入暴露試験で呼吸器への影響が区分1のガイダンス値範囲の濃度で認められる。 1-メキシ-2-プロパノール:この物質と高濃度蒸気は眼、皮膚、気道を刺激する。非常に高濃度で暴露すると中枢神経系の機能低下を生じることがある。 区分3扱い。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	以下の区分の物質を含む。 メタ-キシリレンジアミン:ラットを用いた経口投与試験で区分2のガイダンス値範囲を超える用量でも胃粘膜に対する障害以外に重大な毒性作用は認められていない。皮膚腐食性があることから経口投与による消化器系への影響は局所影響と判断し標的臓器としてない。 1-メキシ-2-プロパノール: この液体は皮膚の脱脂を起こす。
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水性環境急性有害性 以下の区分の水性環境急性有害性の物質を含む。

ポリメルカプタン ヒメダカ LC50(96 時間) 66mg/L

メタ-キシリレンジアミン ヒメダカ LC50(96 時間) 88mg/L

藻類 セネデスマス EC50(72 時間) 14mg/L

甲殻類 オオミジンコ EC50(48 時間) 3.4mg/L

1-メキシ-2-プロパノール 甲殻類オオミジンコ EC50>1000mg/L/48hr(EU-RAR,2003)

水性環境慢性有害性 長期継続的影響によって水生生物に有害 (区分3)

残留性・分解性

ポリメルカプタン BOD分解度:0%

メタ-キシリレンジアミン 難分解性:BOD分解度:22%

1-メキシ-2-プロパノール 微生物による分解性が良好と判断される物質。

生体蓄積性

メタ-キシリレンジアミン 低濃縮性:BCF<2.7

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

本製品はモントリオール議定書の付属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

1866

品名

樹脂液(可燃性)

国連分類

3

容器等級

I

海洋汚染物質

有害液体物質 Y 類;ベンジルアルコール
Z 類;プロピレングリコールモノメチルエーテル(1-メキシ-2-プロパノール)

国内規制

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

国際規制

海上規制情報

IMOの規定に従う。

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

消防法

危険物第4類第2 石油類非水溶性 危険等級Ⅲ

労働安全衛生法

名称等を表示すべき有害物(法第57条の1)

1-メキシ-2-プロパノール

名称等を通知すべき有害物(法第57条の2)

1-メキシ-2-プロパノール

化学物質官位促進法(PRTR法)	該当しない。
労働基準局通達(基発 477 号の2)	エポキシ樹脂硬化剤成分; 変性脂肪族ポリアミン
有機溶剤中毒予防規則	該当しない。
毒物劇物取締法	該当しない。
船舶安全法	引火性液体 (危規則第2、3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体 (施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

F☆☆☆☆認証登録(JAIA 005400)

参考文献

- 1) メーカー発行の安全データシートの作成指針
- 2) JIS Z 7253(2019) 日本規格協会
- 3) 日化協「緊急時応急措置指針」 日本化学工業協会

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。